

みんなで作った



町会会館

北区の志茂四丁目町会が町会会館を移転新築し、先月完成した。建設費の一部は町会会員からの寄付でまかなわれ、地元在住の漫画家がシャッターアートを施した。同町会の田中義彦会長(69)は「みんなで作った会館」と、目を細める。

(小形佳奈)

北区志茂4丁目

したまち

在住漫画家がシャッターアート 町会長「交流拠点、街に笑顔を」

志茂4丁目は、区の北東部、荒川と隅田川の分岐点近くに位置する。田中さんは2020年5月に町会長になり、老朽化が進んだ町会会館の移転に着手した。志茂3丁目にまたがる「志茂銀座商店街」のほぼ中央でコインパーキングとして使われていた土地を借り、鉄骨造り2階建ての会館を建てることにした。

ところが、建築資材高騰の影響で建設費が当初の計算を上回った。田中さんは、町会の杉森芳雄副会長(79)と2人で会員の家を1軒ずつ訪ね、寄付を頼んだ。160軒から約1千万円が寄せられた。訪ねたうちの1軒が、漫画家猿山長七郎さん(52)宅だった。猿山さんがキャラクターデザインや企業広告などで活動することを知った田中さんはシャッターアートを依頼した。

会館の立つ商店街は「昔は商店がびっしりと並び、日用品、食料品、何でも手に入った」が、今は「シャッター街」(田中さん)。

2300世帯が暮らす町会の加入率は50%と、高くない。田中さんには「会館を交流拠点にして、街に笑顔を」との思いがあった。猿山さんは荒川の景色にひかれ、12年前に家族4人で赤羽から引っ越してきた。デザインしたシャッターには、荒川の水門や土手の桜、寺社など地域のランドマークの上を天女が舞い、町会の旗章を擬人化したキャラクターも羽ばたく。

会館では、町会がジャズコンサートや同区ゆかりの実業家渋沢栄一に関する講演、落語などを企画。各種イベント、サークル活動にも貸し出す。



町会会館の前に立つ(左から)猿山長七郎さん、田中義彦さん、杉森芳雄さん―北区志茂4で



森田屋
米店

南荻窪1-43-17
☎03-3333-9512

大正15年創業。農家さんと直結、厳選米専門店